令和 8 年 11 月 11 日

埼玉県感染症発生動向調査事業　　彩の国　埼玉県

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報　2026 年 第 45 週（11 月 2 日～11 月 8 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症		報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1 人	類型	患者
			血清型	O157
	腸チフス	1 人	推定感染地域	不明
四類感染症	E 型肝炎	1 人	推定感染地域	国内
	レジオネラ症	7 人	病型	肺炎型　7 人
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2 人	菌種	*Escherichia* sp.　2 人
	急性脳炎	1 人	病原体	インフルエンザウイルスA型
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人		
	侵襲性肺炎球菌感染症	4 人		
	梅毒	5 人	病型	早期顕症Ⅰ期　3 人、 無症状病原体保有者　2 人
	百日咳	9 人	年齢階級	1-4 歳　1 人、5-9 歳　4 人、 10 歳代　1 人、30 歳代　2 人、 40 歳代　1 人

〈定点把握疾患の患者情報〉

インフルエンザ（14.22→16.34：**図 1-1～3**）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、依然としてやや多い状況にある。年齢階級別では 14 歳以下が全体の約 61%であった。基幹定点における**インフルエンザ（入院）**の報告数は 27 人（前週 22 人）であった。基幹定点報告疾患の一つである**マイコプラズマ肺炎**（**図 2**）の報告数は 27 人（定点当たり報告数 2.25）であり、依然として多い状況にある。年齢階級別では、14 歳以下が全体の約 89%であった。**ＲＳウイルス感染症**（1.03→0.84：**図 3**）の定点当たり報告数は、第 42 週以降、減少傾向にある。**新型コロナウイルス感染症**（1.22→1.33：**図 4**）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。基幹定点における**新型コロナウイルス感染症（入院）**の報告数は 8 人（前週 10 人）であった。**急性呼吸器感染症**（96.73→104.28：**図 5**）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。眼科定点報告疾患では、**流行性角結膜炎** 15 人の報告があった。その他の基幹定点報告疾患では、**無菌性髄膜炎** 1 人の報告があった。

○全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構（JIHS）感染症情報提供サイト（URL：https://id-info.jihs.go.jp/）で御覧になれます。

埼玉県衛生研究所　感染症疫学情報担当
TEL:0493-59-9325　e-mail:p5349952@pref.saitama.lg.jp
URL: https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/

＜インフルエンザ流行情報＞

図 1-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

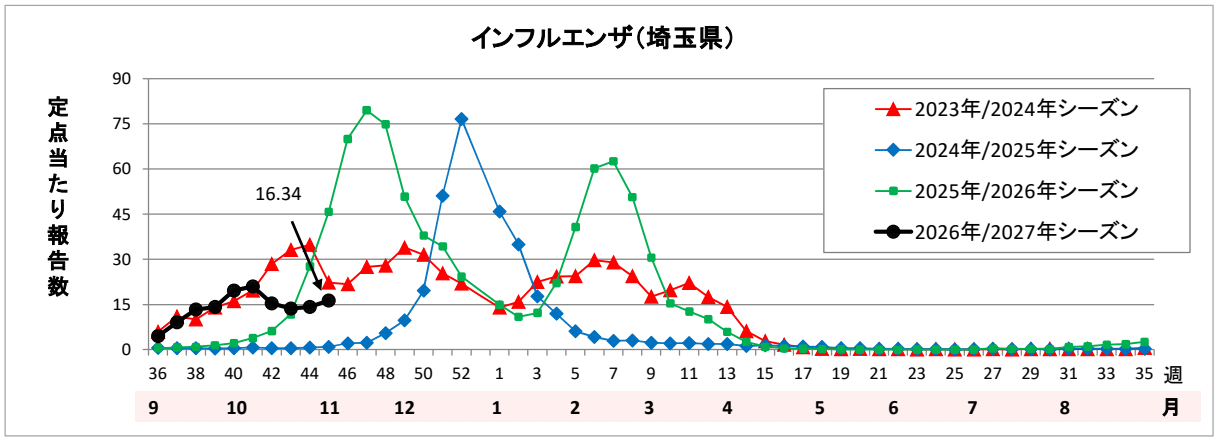
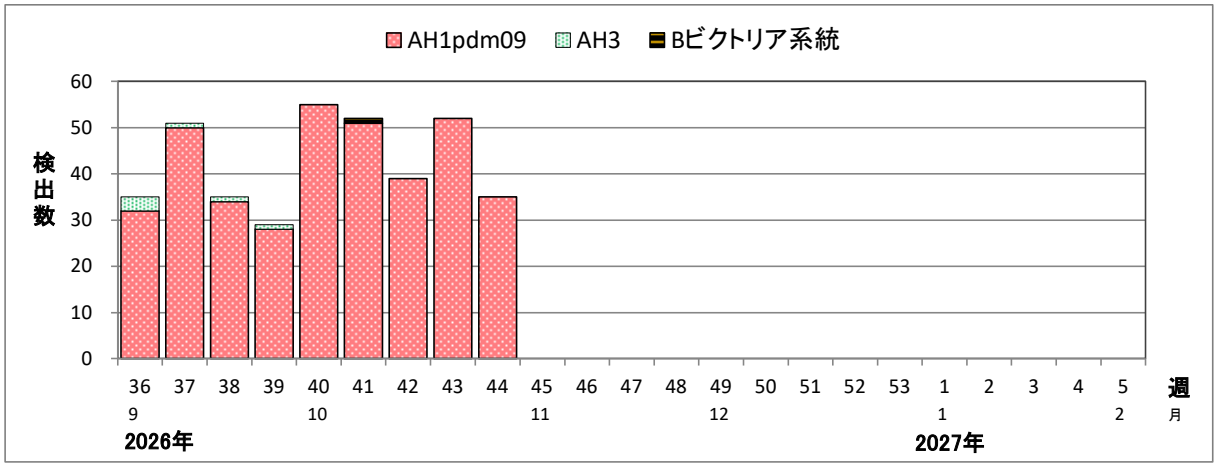
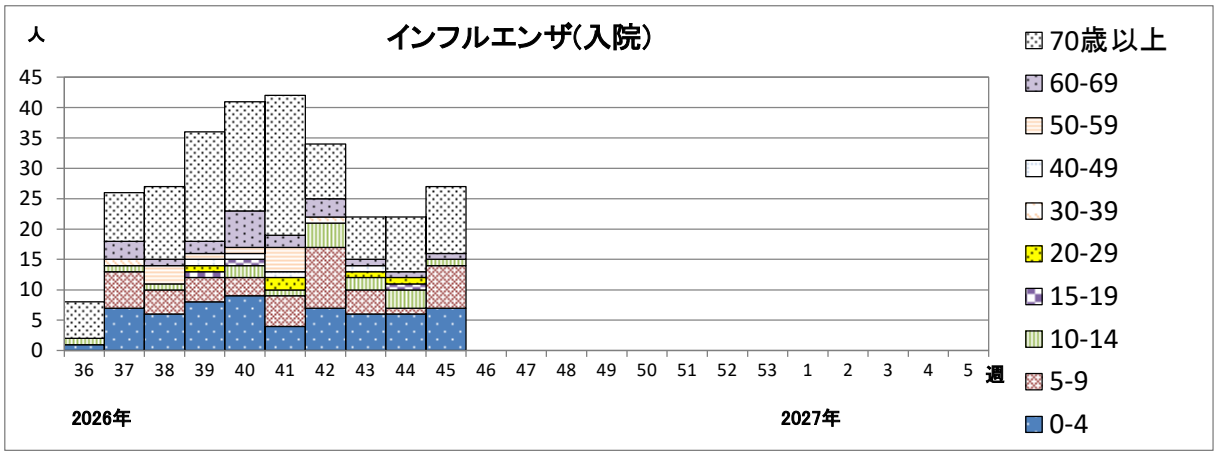


図 1-2 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2026 年第 42 週～第 44 週（2026 年 10 月 12 日～11 月 1 日）の 3 週間に採取された急性呼吸器感染症のうち、インフルエンザウイルスが検出され、その型別が終了した 126 検体は、すべて AH1pdm09 型でした。

図 1-3 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数の推移



＜今週の注目される定点把握対象疾患の推移＞

図２　マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数の推移

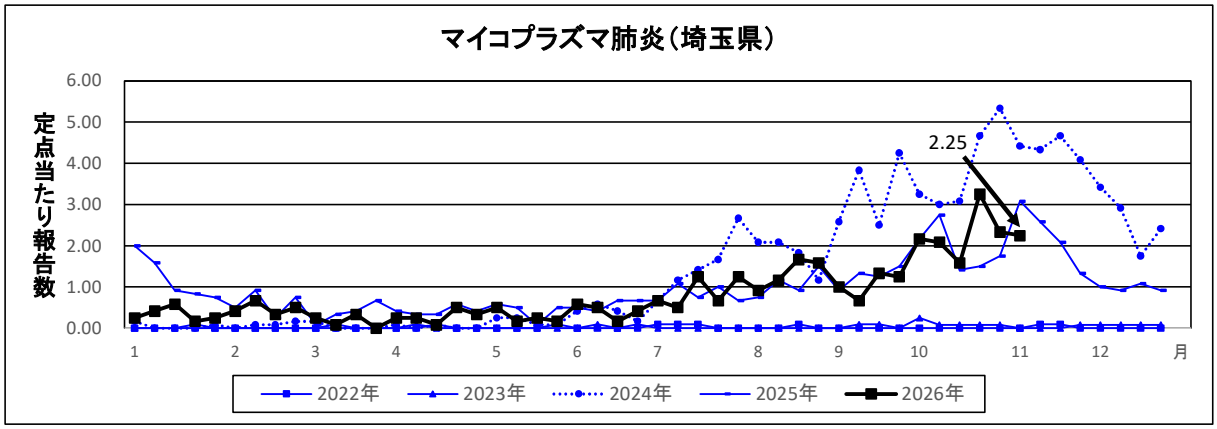


図３　ＲＳウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

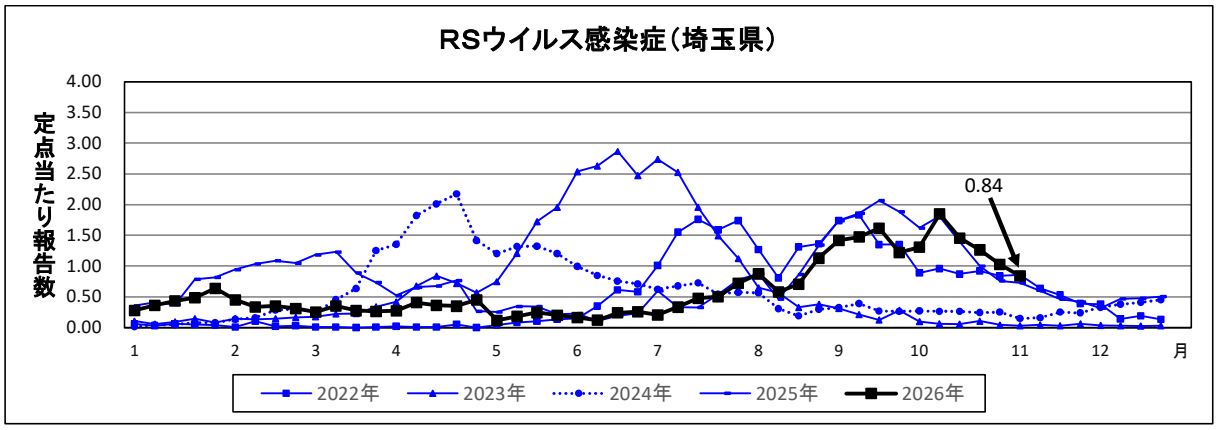


図４　新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

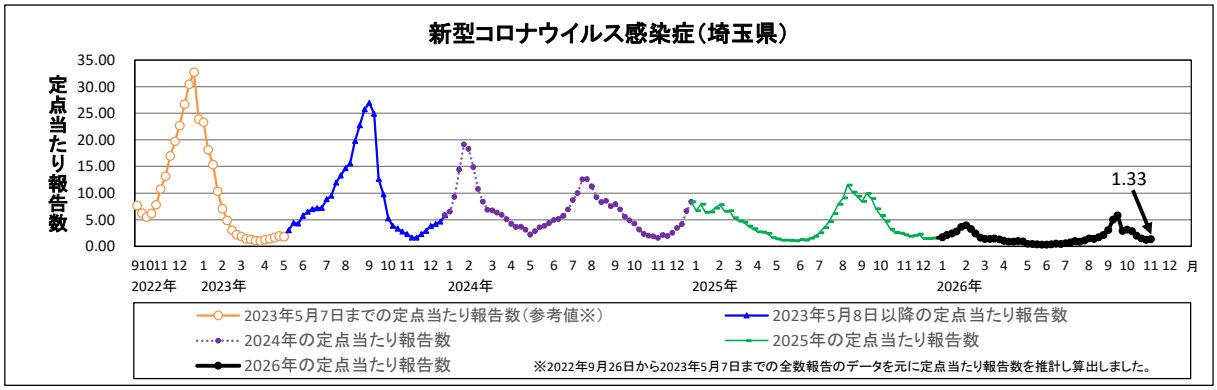
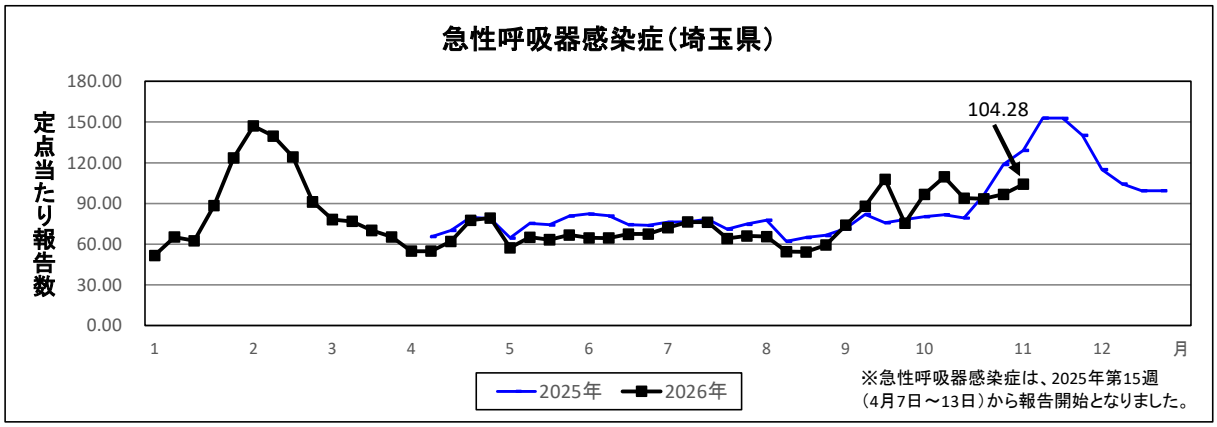


図５　急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



急性呼吸器感染症における病原体検出状況は以下のページに掲載しています。

https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第45週)

(2026年11月10日　15:00集計)

	今週届出	累計		今週届出	累計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核＊1	−	−	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス	1	4
細菌性赤痢		2	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	1	160			
四類感染症					
E型肝炎	1	59	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		18	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	7	143
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		2	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		29	水痘（入院例に限る）		21
ｳｲﾙｽ性肝炎(E型・A型を除く)		15	先天性風しん症候群		
ｶﾙﾊﾞﾍﾟﾈﾑ耐性腸内細菌目細菌感染症	2	44	多剤耐性緑膿菌感染症		2
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		3	梅毒	5	428
急性脳炎	1	74	播種性クリプトコックス症		6
クリプトスポリジウム症			破傷風		5
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	ﾊﾞﾝｺﾏｲｼﾝ耐性黄色ﾌﾞﾄﾞｳ球菌感染症		
劇症型溶血性ﾚﾝｻ球菌感染症		47	ﾊﾞﾝｺﾏｲｼﾝ耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群		36	百日咳	9	397
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ菌感染症	1	34	麻しん		40
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
侵襲性肺炎球菌感染症	4	91			

累計は診断週で集計

＊1　結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況（定点把握対象疾患）　　報告患者数　　保健所別　（2026年第45週　　11月2日～11月8日）

保健所		インフルエンザ＃1	新型コロナウイルス感染症	急性呼吸器感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎＃2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎＃3	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	インフルエンザ（入院）	新型コロナウイルス感染症（入院）
全県	報告数	2,876	234	18,353	93	11	189	409	21	76	6	22	48	7	－	15	－	1	27	－	－	27	8
	定点当たり	16.34	1.33	104.28	0.84	0.10	1.70	3.68	0.19	0.68	0.05	0.20	0.43	0.06	－	0.35	－	0.08	2.25	－	－	2.25	0.67
朝霞	報告数	397	47	1,369	6	－	11	32	2	9	－	3	3	1	－	11	－	－	5	－	－	7	2
	定点当たり	24.81	2.94	85.56	0.60	－	1.10	3.20	0.20	0.90	－	0.30	0.30	0.10	－	2.20	－	－	5.00	－	－	7.00	2.00
鴻巣	報告数	444	24	3,167	2	－	43	23	3	2	－	－	3	1	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	37.00	2.00	263.92	0.29	－	6.14	3.29	0.43	0.29	－	－	0.43	0.14	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
東松山	報告数	122	1	483	－	－	4	19	－	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	定点当たり	30.50	0.25	120.75	－	－	1.33	6.33	－	1.67	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
秩父	報告数	41	1	89	1	1	4	－	1	－	－	－	1	－	＊	＊	－	－	－	－	－	2	－
	定点当たり	10.25	0.25	22.25	0.33	0.33	1.33	－	0.33	－	－	－	0.33	－	＊	＊	－	－	－	－	－	2.00	－
本庄	報告数	21	3	195	－	－	1	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	定点当たり	5.25	0.75	48.75	－	－	0.33	－	0.33	－	－	－	－	0.33	－	－	－	－	－	－	－	－	－
熊谷	報告数	103	7	760	9	1	2	15	1	4	5	1	4	－	－	－	－	－	－	－	－	4	1
	定点当たり	11.44	0.78	84.44	1.80	0.20	0.40	3.00	0.20	0.80	1.00	0.20	0.80	－	－	－	－	－	－	－	－	4.00	1.00
加須	報告数	85	8	177	1	－	1	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	1	－
	定点当たり	17.00	1.60	35.40	0.33	－	0.33	－	0.67	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3.00	－	－	1.00	－
春日部	報告数	123	3	1,023	2	3	12	21	1	1	－	1	－	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	20.50	0.50	170.50	0.67	1.00	4.00	7.00	0.33	0.33	－	0.33	－	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
幸手	報告数	291	20	1,356	12	－	15	4	－	1	－	－	1	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	32.33	2.22	150.67	2.40	－	3.00	0.80	－	0.20	－	－	0.20	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
坂戸	報告数	38	11	398	1	－	1	31	－	2	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－
	定点当たり	9.50	2.75	99.50	0.33	－	0.33	10.33	－	0.67	－	0.33	－	－	－	－	－	－	1.00	－	－	1.00	－
草加	報告数	176	13	756	5	2	5	26	4	6	－	1	1	1	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	16.00	1.18	68.73	0.71	0.29	0.71	3.71	0.57	0.86	－	0.14	0.14	0.14	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
狭山	報告数	168	32	979	3	1	8	23	3	10	1	2	6	－	－	1	－	－	7	－	－	1	1
	定点当たり	12.92	2.46	75.31	0.30	0.10	0.80	2.30	0.30	1.00	0.10	0.20	0.60	－	－	0.20	－	－	7.00	－	－	1.00	1.00
南部	報告数	59	6	634	10	－	16	20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	1
	定点当たり	11.80	1.20	126.80	3.33	－	5.33	6.67	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3.00	－	－	－	1.00
川越市	報告数	132	3	1,081	2	1	10	7	1	21	－	4	3	－	－	1	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	14.67	0.33	120.11	0.40	0.20	2.00	1.40	0.20	4.20	－	0.80	0.60	－	－	0.50	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
越谷市	報告数	46	8	676	1	－	9	4	－	2	－	2	1	1	－	－	－	－	2	－	－	1	－
	定点当たり	5.75	1.00	84.50	0.20	－	1.80	0.80	－	0.40	－	0.40	0.20	0.20	－	－	－	－	2.00	－	－	1.00	－
川口市	報告数	191	19	1,869	14	－	27	66	1	2	－	3	12	－	－	－	－	－	1	－	－	4	－
	定点当たり	13.64	1.36	133.50	1.75	－	3.38	8.25	0.13	0.25	－	0.38	1.50	－	－	－	－	－	1.00	－	－	4.00	－
さいたま市	報告数	439	28	3,341	24	2	20	118	1	11	－	4	13	2	－	2	－	1	5	－	－	6	3
	定点当たり	10.21	0.65	77.70	0.86	0.07	0.71	4.21	0.04	0.39	－	0.14	0.46	0.07	－	0.22	－	1.00	5.00	－	－	6.00	3.00

（ － ： 0.00 ）　　＃1 鳥インフルエンザを除く　　＃2 真菌性を含む　　＃3 オウム病を除く

11月　10 日　13:15 集計

感染症発生状況（定点把握対象疾患）　報告患者数　年齢別　（2026年第45週　11月2日～11月8日）

	合計	−6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10−14	15−19	20−29	30−39	40−49	50−59	60−69	70−79	80〜
インフルエンザ　#1	2,876	3	21	96	95	106	127	165	146	141	177	152	526	157	130	206	220	168	124	81	35
新型コロナウイルス感染症	234	5	3	14	12	6	4	3	6	2	4	4	22	15	14	21	27	28	17	13	14

	合計	0歳	1−4	5−9	10−14	15−19	20−29	30−39	40−49	50−59	60−69	70−79	80〜
急性呼吸器感染症	18,353	1,030	5,828	4,462	2,176	858	705	817	746	673	456	369	233

	合計	−6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10−14	15−19	20〜
RSウイルス感染症	93	10	22	29	20	5	4	2	1	−	−	−	−	−	−
咽頭結膜熱	11	−	3	3	2	1	−	1	1	−	−	−	−	−	−
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	189	−	−	1	5	15	20	19	16	18	12	23	30	2	28
感染性胃腸炎	409	5	22	52	42	33	37	22	31	30	20	24	68	10	13
水痘	21	−	−	−	1	2	5	2	2	−	2	1	4	1	1
手足口病	76	2	3	27	14	10	6	7	−	5	−	−	1	1	−
伝染性紅斑	6	−	1	2	1	−	−	1	−	−	−	−	−	−	1
突発性発しん	22	−	5	11	5	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−
ヘルパンギーナ	48	−	2	10	8	2	5	7	5	3	4	−	2	−	−
流行性耳下腺炎	7	−	−	−	−	1	1	1	−	1	2	1	−	−	−

	合計	−6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10−14	15−19	20−29	30−39	40−49	50−59	60−69	70〜
急性出血性結膜炎	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
流行性角結膜炎	15	−	−	−	−	−	1	−	2	−	−	−	1	1	2	3	4	1	−	−

	合計	0歳	1-4	5-9	10−14	15−19	20−24	25−29	30−34	35−39	40−44	45−49	50−54	55−59	60−64	65−69	70〜
細菌性髄膜炎　#2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
無菌性髄膜炎	1	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マイコプラズマ肺炎	27	−	7	13	4	1	−	−	−	−	−	1	−	−	−	1	−
クラミジア肺炎　#3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
インフルエンザ(入院)	27	−	7	7	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	11
新型コロナウイルス感染症（入院）	8	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	7

※ 表中の数値は各定点からの報告数（ − : 0 ）

#1　鳥インフルエンザを除く　　#2　真菌性を含む　　#3　オウム病を除く

全国・関東情報

第43週（10月19日～10月25日）

令和8年11月11日

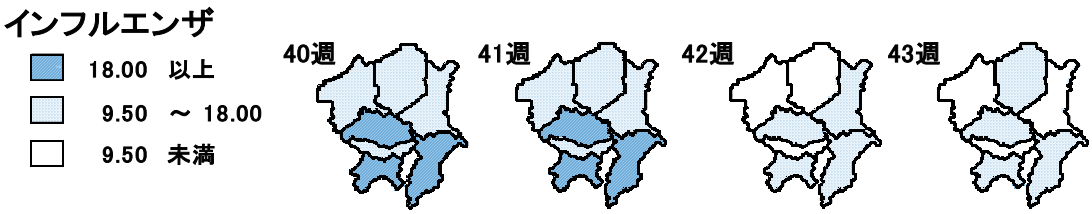
＜全国情報＞

急性呼吸器感染症定点報告疾患（報告定点数：3,733）：インフルエンザの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県（22.82）、沖縄県（17.39）、兵庫県（15.02）である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は931例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳（23例）、1～9歳（231例）、10代（58例）、20代（6例）、30代（4例）、40代（13例）、50代（38例）、60代（79例）、70代（179例）、80歳以上（300例）であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は北海道（1.85）、長野県（1.64）、埼玉県（1.50）である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は194例と前週と比較して減少した。都道府県別では38都道府県から報告があり、年齢群別では0歳（2例）、1～9歳（28例）、10代（6例）、20代（3例）、30代（7例）、40代（4例）、50代（8例）、60代（22例）、70代（29例）、80歳以上（85例）であった。急性呼吸器感染症（報告定点数：3,722）定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岩手県（116.73）、埼玉県（93.47）、群馬県（91.36）である。
小児科定点報告疾患（主なもの）（報告定点数：2,255）：RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期（前週、当該週、後週）の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は奈良県（3.42）、島根県（3.18）、静岡県（2.05）である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県（0.91）、鹿児島県（0.65）、佐賀県（0.50）である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県（3.90）、鳥取県（2.89）、北海道（2.74）である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県（6.78）、宮崎県（6.47）、群馬県（5.72）である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県（0.67）、大分県（0.44）、神奈川県（0.39）である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福井県（4.80）、石川県（3.36）、長野県（1.18）である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は徳島県（0.71）、山梨県（0.25）、福井県（0.08）である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は群馬県（2.08）、富山県（2.03）、茨城県（1.32）である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は静岡県（0.17）、岡山県（0.14）、福井県（0.08）、佐賀県（0.08）である。
基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の位3位は埼玉県（3.25）、群馬県（2.78）、愛知県（2.27）である。感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）の定点当たり報告数は減少した。福島県から1例報告があり、年齢群別では70歳以上であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年 第43週（10月19日～10月25日）：通巻第28巻 第43号

＜関東情報＞

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県（13.65）、千葉県（11.10）、栃木県（10.06）、神奈川県（9.71）で全国平均（9.49）を上回った。



2026年 43週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ ＃1	報告数	35,440	11,595	550	473	326	2,389	2,009	3,499	2,349
	定点当たり	9.49	9.85	8.09	10.06	7.24	13.65	11.10	8.35	9.71
新型コロナウイルス感染症	報告数	3,109	1,247	61	56	41	262	193	335	299
	定点当たり	0.83	1.06	0.90	1.19	0.91	1.50	1.07	0.80	1.24
急性呼吸器感染症	報告数	225,234	83,711	4,607	3,531	4,111	16,358	12,053	24,905	18,146
	定点当たり	60.51	71.24	67.75	75.13	91.36	93.47	66.96	59.44	75.29
RSウイルス感染症	報告数	2,528	732	47	29	51	139	69	242	155
	定点当たり	1.12	1.02	1.24	1.07	2.04	1.26	0.63	0.92	1.08
咽頭結膜熱	報告数	465	106	4	3	12	22	16	33	16
	定点当たり	0.21	0.15	0.11	0.11	0.48	0.20	0.15	0.13	0.11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	3,067	877	99	59	52	167	114	230	156
	定点当たり	1.36	1.22	2.61	2.19	2.08	1.52	1.05	0.87	1.09
感染性胃腸炎	報告数	7,166	2,269	107	64	143	349	278	899	429
	定点当たり	3.18	3.17	2.82	2.37	5.72	3.17	2.55	3.41	3.00
水痘	報告数	394	145	5	1	8	25	9	41	56
	定点当たり	0.17	0.20	0.13	0.04	0.32	0.23	0.08	0.16	0.39
手足口病	報告数	1,333	474	27	16	10	81	99	157	84
	定点当たり	0.59	0.66	0.71	0.59	0.40	0.74	0.91	0.59	0.59
伝染性紅斑	報告数	54	13	–	–	–	4	2	5	2
	定点当たり	0.02	0.02	–	–	–	0.04	0.02	0.02	0.01
突発性発しん	報告数	565	179	7	9	7	33	29	71	23
	定点当たり	0.25	0.25	0.18	0.33	0.28	0.30	0.27	0.27	0.16
ヘルパンギーナ	報告数	1,607	694	50	34	52	98	108	246	106
	定点当たり	0.71	0.97	1.32	1.26	2.08	0.89	0.99	0.93	0.74
流行性耳下腺炎	報告数	85	30	1	–	1	5	1	14	8
	定点当たり	0.04	0.04	0.03	–	0.04	0.05	0.01	0.05	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	14	–	–	–	–	–	–	–	–
	定点当たり	0.02	–	–	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	報告数	359	84	19	3	–	11	6	19	26
	定点当たり	0.52	0.41	1.12	0.25	–	0.26	0.18	0.49	0.51
細菌性髄膜炎 ＃2	報告数	9	2	–	1	–	1	–	–	–
	定点当たり	0.02	0.02	–	0.14	–	0.08	–	–	–
無菌性髄膜炎	報告数	31	4	–	–	–	–	–	2	2
	定点当たり	0.06	0.05	–	–	–	–	–	0.08	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	394	145	17	2	25	39	5	38	19
	定点当たり	0.82	1.67	1.31	0.29	2.78	3.25	0.56	1.52	1.58
クラミジア肺炎 ＃3	報告数	5	–	–	–	–	–	–	–	–
	定点当たり	0.01	–	–	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	報告数	1	–	–	–	–	–	–	–	–
	定点当たり	0.00	–	–	–	–	–	–	–	–

＃1 鳥インフルエンザを除く　＃2 真菌性を含む　＃3 オウム病を除く　（–:0.00）

S I A S R

(Saitama Infectious Agents Surveillance Report)

埼玉県病原微生物検出情報（月報）2026 年 10 月号　　2026 年 11 月 11 日発行

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

急性呼吸器感染症の検体は、10 月に 901 検体採取されました。
検査が終了した 676 検体において、インフルエンザウイルスが 178 件（26.3%）と最も多く検出され、次いでライノ／エンテロウイルスが 143 件（21.2%）でした。検出されたインフルエンザウイルスの型別の内訳は、AH1pdm09 亜型が 175 件、B 型（ビクトリア系統）が 3 件でした。
急性呼吸器感染症については、最新の検出状況を以下のページに記載しています。
https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html
インフルエンザについては最新の流行状況や検出状況を以下のページに記載しています。
https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html

細菌検出状況

三類感染症　　2026年10月31日現在

臨床診断名	病原体名＼採取月	8 月	9 月	10 月	備考(10月分)
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌(*Escherichia coli*)合計	28	15	3	
	O157:H7 (VT2)	14	6*	2	
	O157:H7 (VT1&2)	5	2		
	O157:H- (VT1&2)		1		
	O26:H11 (VT1)	2	1*		
	O103:H2 (VT1)	2	1		
	O111:H- (VT1)	1			
	O115:H10 (VT1)		1		
	O146:H- (VT1&2)	1			
	OUT:H2 (VT2)		1		
	OUT:H2 (VT1&2)	1			
	OUT:H- (VT2)	2	1		
	OUT:H- (VT1&2)		1		
	OUT:HUT (VT2)			1	
パラチフス	*Salmonella* Paratyphi A	1(1)			

コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフスに関しては、( )内に海外感染例を掲載　　＊1症例から複数の血清型が検出された例を含む

四類感染症　　2026年10月31日現在

臨床診断名	病原体名＼採取月	8 月	9月	10月	備考(10月分)
レジオネラ症	*Legionella pneumophila* SG1	2	5(1)	1	

( )内は海外感染例再掲

五類感染症(全数把握)　　2026年10月31日現在

臨床診断名	病原体名＼採取月	8月	9月	10月	備考(10月分)
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症	*Klebsiella aerogenes*	1			
	Klebsiella pneumoniae	1	3		
	Enterobacter cloacae complex	1	2		
	Escherichia coli	2	1		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	*Streptococcus pyogenes* (血清群A群)	3			
	Streptococcus agalactiae (血清群B群)	2	1	1	
	Streptococcus dysgalactiae subsp. *equisimilis*	2			
侵襲性肺炎球菌感染症	*Streptococcus pneumoniae*	2			

ウイルス検出状況

二類感染症及び指定感染症

2026年11月4日　現在(累計：2026年1月～)

臨床診断名	ウイルス＼採取月／検体合計数	8月	9月	10月	累計	その他のウイルス
					1	
中東呼吸器症候群	検体数				1	
	MERSコロナ					

四類感染症

2026年11月4日　現在(累計：2026年1月～)

臨床診断名	ウイルス＼採取月／検体合計数	8月	9月	10月	累計	その他のウイルス
		2	6	4	63	
E型肝炎	検体数	1	2	1	38	
	E型肝炎			1	25	
	検査中		1		1	
A型肝炎	検体数	1	4		14	
	A型肝炎	1	4		13	
チクングニア熱	検体数				3	
	チクングニア					
デング熱	検体数			3	8	
	デング			2	3	

五類感染症（全数把握）

2026年11月4日　現在(累計：2026年1月～)

臨床診断名	ウイルス＼採取月／検体合計数	8月	9月	10月	累計	その他のウイルス
		36	34	18	1087	
急性弛緩性麻痺	検体数		6	6	18	
	エンテロ D68					
	検査中		6	6	12	
急性脳炎 (四類以外)	検体数	3	4	2	50	
	コクサッキー A6				1	
	ヒトヘルペス 6	1			9	
	ヒトヘルペス 7				1	
	アデノ nt				1	
	検査中		4	2	6	
水痘 (入院例)	検体数			1	1	
	水痘帯状疱しん					
	検査中			1	1	
風しん	検体数	7			16	
	風しん					
麻しん	検体数	26	24	9	1002	麻しん(ワクチン株)(2)，コクサッキー A6(1)
	麻しん				93	

五類感染症（定点把握）（急性呼吸器感染症を除く）

2026年11月4日　現在(累計：2026年1月～)

臨床診断名	採取月 / 検体合計数 / ウイルス	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計	その他のウイルス
		10	15	13	13	26	22	31	20	22	14	186	
RSウイルス感染症	検体数		10	4		2	2	1	2	7	2	30	
	RS A		7	4			1	1	1	4		18	
	RS B		3			2	1		1	1		8	
	検査中									2	2	4	
咽頭結膜熱	検体数					1						1	
	アデノ 2					1						1	
感染性胃腸炎	検体数	2	3	4	7	3	3	1	4		2	29	
	ノロ	1	3	1	2				2			9	
	サポ		1					1				2	
	アストロ			1	1	1					1	4	アデノ 2(1)，ライノ(1)
	ロタ (A)				2							2	
	アデノ 41				1							1	
	検査中										1	1	
水痘	検体数			2	1							3	
	水痘帯状疱しん			2								2	
手足口病	検体数				2	4	10	18	4	3	1	42	エンテロ nt(1)，パレコ(1)，ライノ(4)，アデノ 2(1)，EB(1)，サイトメガロ(1)，ヒトヘルペス 6(1)，パラインフルエンザ 3(2)，パラインフルエンザ 4(1)，ヒトボカ(2)
	コクサッキー A6					2	8	17	2	1		30	
	コクサッキー A16				1							1	
	検査中										1	1	
突発性発しん	検体数	2			1	2	1			1	1	8	コクサッキー A9(1)，ライノ(1)
	ヒトヘルペス 6					1					1	2	
	ヒトヘルペス 7	1										1	
ヘルパンギーナ	検体数	1						2				3	単純ヘルペス 1(1)
	コクサッキー A6							2				2	
流行性耳下腺炎	検体数	1				3	2	1	3	2	1	13	EB(3)，ライノ(3)，ヒトヘルペス 6(1)，ヒトヘルペス 7(4)
	ムンプス												
流行性角結膜炎	検体数								2			2	
	アデノ 8								1			1	
	アデノ 37								1			1	
無菌性髄膜炎	検体数	4	2	3	2	11	4	8	5	9	7	55	
	コクサッキー A6					2		3	1			6	
	エンテロ nt							2				2	
	単純ヘルペス 2	1										1	
	水痘帯状疱しん							1				1	
	サイトメガロ			1								1	
	パラインフルエンザ 1	2										2	
	検査中								2	6	6	14	

急性呼吸器感染症

2026年11月4日　現在(累計：2026年1月～)

臨床診断名	採取月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
急性呼吸器感染症	検体数	911	919	892	740	620	782	809	600	854	901	8028
	インフルエンザ AH1pdm09	1	2	2		2		16	53	190	175	441
	インフルエンザ AH3	118	25	10	1			5	1	6		166
	インフルエンザ B(ビクトリア)	194	411	182	20	3	1				3	814
	インフルエンザ B	1	1									2
	新型コロナ	74	58	48	30	15	25	58	61	92	33	494
	RS A	21	13	17	9	1	6	16	29	37	39	188
	RS B	25	18	18	17	6	12	19	22	23	25	185
	ヒトメタニューモ	12	18	74	82	43	61	94	48	33	20	485
	パラインフルエンザ 1	1	7	12	20	21	57	62	16	13	2	211
	パラインフルエンザ 2	1			1		1		2	3	9	17
	パラインフルエンザ 3			3	14	31	65	85	36	20	1	255
	パラインフルエンザ 4		1			1	2	5	2	2	4	17
	ライノ/エンテロ	81	75	113	194	207	211	176	105	161	143	1466
	アデノ	14	10	23	10	24	36	29	15	18	14	193
	ヒトコロナ HKU1	20	24	26	7	3	2		1	1	2	86
	ヒトコロナ OC43	40	78	117	69	20	6	2	2	1		335
	ヒトコロナ 229E	5	17	17	20	3	1	3		1	1	68
	ヒトコロナ NL63	40	16	10	1	1						68
	ヒトパレコ					1	1	3	5	4	1	15
	ヒトボカ	3	2	3	9	20	58	49	13	11	3	171
	肺炎マイコプラズマ	4	1	4	5	5	7	9	11	21	18	85
	単純ヘルペス1					1		1				2
	単純ヘルペス2	1										1
	水痘帯状疱しん				1							1
	EB			1								1
	サイトメガロ		1							1	1	3
	ヒトヘルペス 6		2			1	1		1	1		6
	ヒトヘルペス 7	2	1	1		2		2	1			9
	検査中									11	225	236

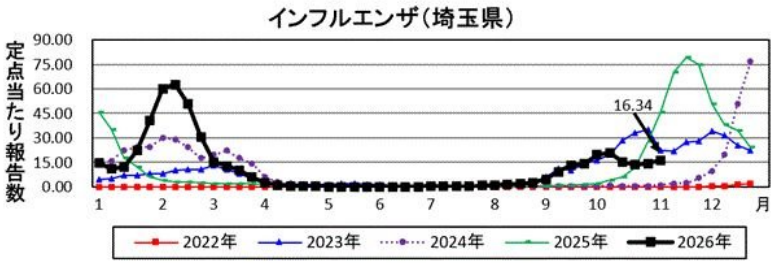
感染症発生動向調査 2026年
- 感染症の流行状況 2026年 第1週
- 感染症の流行状況 2026年 第2週
- 感染症の流行状況 2026年 第3週
- 感染症の流行状況 2026年 第4週
- 感染症の流行状況 2026年 第5週
- 感染症の流行状況 2026年 第6週
- 感染症の流行状況 2026年 第7週
- 感染症の流行状況 2026年 第8週
- 感染症の流行状況 2026年 第9週
- 感染症の流行状況 2026年 第10週
- 感染症の流行状況 2026年 第11週
- 感染症の流行状況 2026年 第12週
- 感染症の流行状況 2026年 第13週
- 感染症の流行状況 2026年 第14週
- 感染症の流行状況 2026年 第15週
- 感染症の流行状況 2026年 第16週
- 感染症の流行状況 2026年 第17週
- 感染症の流行状況 2026年 第18週
- 感染症の流行状況 2026年 第19週
- 感染症の流行状況 2026年 第20週
- 感染症の流行状況 2026年 第21週
- 感染症の流行状況 2026年 第22週
- 感染症の流行状況 2026年 第23週

感染症の流行状況 2026年 第45週

2026年第45週（11月2日～11月8日）の要点

定点把握対象疾患（インフルエンザ）

定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、依然としてやや多い状況にあります。



感染予防のため、咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	→	－	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
急性呼吸器感染症	↑	－	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	↓	★★	ヘルパンギーナ	↓	★
咽頭結膜熱（プール熱）	↓	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。
疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。
この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。
また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「感染症情報提供サイト」でご覧になれます。

